

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは、専ら、ノベルティ・プレミアムグッズに代表されるセールスプロモーショングッズを企画・販売する単一事業分野において営業活動を行い、単一事業部門で組織されているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

#### (1) 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が一樣ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である(株)岐阜クリエートにおいて生産しておりますが、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
ポケットティッシュ(千個)	45,928
合計(千個)	45,928

(注) 千個未満は切り捨てております。

#### (2) 仕入実績

当社グループは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第2四半期連結会計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
国内仕入(千円)	1,030,458
海外(中国)仕入(千円)	115,317
合計(千円)	1,145,775

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における、当社分類による顧客所属産業分野別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	当第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
衣食住・流通産業分野(千円)	866,599
情報・通信産業分野(千円)	656,515
金融・保険産業分野(千円)	101,229
その他(千円)	185,171
合計(千円)	1,809,516

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間における我が国経済は、原油高に伴う原材料価格の上昇等による企業業績の圧迫や、米国発の金融危機による世界的な景気の減速を受け、实体经济への悪影響が顕在化してきました。また、ガソリン・食料品等の値上げに加え、株式市場等の低迷などから消費者心理がマイナスに影響し、個人消費も力強さを欠く傾向となりました。

このような経済環境のもと、当社グループが属するセールスプロモーション市場におきましては、広告マス媒体から消費者に直結したセールスプロモーションへのニーズは引き続き高く、堅調に推移しておりますが、景況感の悪化や企業業績の先行き懸念などにより、広告及び販促活動を抑制する動きが一部で見られ、今後の先行き需要については厳しい環境が続くことが予想されます。

このような環境の中、当社グループでは従来から推進している基本機能の拡大及び強化、品質管理体制の向上、顧客企業の環境ニーズを取り込んだサービスの拡充など、サービスの高付加価値化への取組みを積極化させるとともに、営業力強化のために採用した新卒16名の戦力化に注力し、新規開拓とともに当社グループの豊富な顧客群への積極的なアプローチを実施し、顧客深耕への取組みを推進しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間における連結業績は、売上高1,809百万円、営業利益83百万円、経常利益94百万円、四半期純利益52百万円となりました。

なお、当社グループではセールスプロモーションの企画及び販売を行う単一事業分野において営業活動を行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載は行っておりません。

### (2) 財政状態の分析

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,504百万円(前連結会計年度末3,400百万円)となり、104百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が191百万円増加したためであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は702百万円(同677百万円)となり、24百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券が35百万円増加したためであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,483百万円(同1,430百万円)となり、53百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が91百万円増加したためであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は222百万円(同215百万円)となり、7百万円増加いたしました。主な要因は、役員退職慰労引当金が5百万円増加したためであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,500百万円(同2,431百万円)となり、68百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が67百万円増加したためであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加415百万円、投資活動による資金の減少208百万円、財務活動による資金の減少9百万円により、前四半期連結会計期間末と比較して197百万円増加し、1,355百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において営業活動による資金の増加は415百万円となりました。主な要因は、仕入債務の減少額が123百万円となりましたが、売上債権の減少額が382百万円となったこと及び税金等調整前四半期純利益が92百万円となったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において投資活動による資金の減少は208百万円となりました。主な要因は、3ヶ月超の定期預金に資金を260百万円振替えたことにより、定期預金の預入による支出が定期預金の引出による収入を210百万円上回ったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間において財務活動による資金の減少は9百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出9百万円によるものであります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。